

JR東海ユニオン



No.1464

きょうむそくほう

2022年10月11日

東海旅客鉄道労働組合

<https://union.jrtu.jp>



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進！

2022年度「年末手当」申入れ実施！

安定支給ベースの考えに基づき「2.9箇月」支給を要求

JR東海ユニオンは、2022年度「年末手当」について、申第4号「2022年度年末手当に関する要求について」を会社に対して申し入れ、「基準内賃金及び補償措置額の2.9箇月分」
「12月9日支給」を要求した。

上半期を振り返ると、第1四半期は、コロナ禍の一時的な収束により、ご利用が緩やかに回復し、運輸収入は年度初の業績予想の想定を上回った。第2四半期に入ると、第7波の猛威や、9月には度重なる台風の襲来に見舞われたものの、ご利用が大きく悪化することなく緩やかに回復した。JR東海ユニオンとして、会社の一定の黒字化を予想するまでの状況に至ったのは、各現業・非現業機関で昼夜を問わず、鉄道運行や医療、諸施策の推進に奮闘したJR東海ユニオン組合員の懸命な努力の賜物である。今こそ、この間の議論に基づき組合員の努力に報いる安定支給ベース2.9箇月の支給が必須である。

今後、申入れに基づき団体交渉を開催し、「将来宣言」に基づき建設的で真摯な議論を展開していく。

要求月数：基準内賃金及び補償措置額の2.9箇月
支給日：12月9日